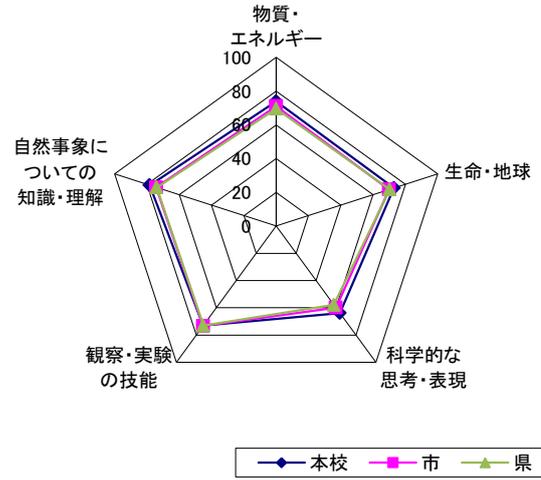


宇都宮市立西原小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	74.0	71.1	69.6
	生命・地球	73.0	70.0	70.3
観点	科学的な思考・表現	63.8	59.8	57.8
	観察・実験の技能	73.1	73.2	73.0
	自然事象についての知識・理解	78.3	74.3	74.0



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は県の正答率をやや上回っている。 ○「ものの重さ」「風やゴムのはたらき」の問題の正答率は、県や市に比べ上回っていた。 ●「じしゃくのせいしつ」では、10円玉を電気が通るか、磁石がつくかの観点でなかま分けをすることはできたが、その理由を説明することに課題があった。</p>	<p>・授業の中で、本時の課題に対する予想をたてるだけでなく、予想したことを調べるためにどのような実験をすればよいかを考える活動を取り入れるようにする。 ・理科以外の授業の中でも、自分の考えの理由を説明する活動を取り入れて、問題に対して何を答えればよいか考える力を育てるようにする。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は県の正答率をやや上回っている。 ○「こん虫と植物」の「自然事象についての知識・理解」に関する問題は、県や市の平均を上回っている。 ●「太陽と地面のようす」では、方位磁針の使い方や太陽の1日の動きについての問題に課題があった。</p>	<p>・「観察・実験の技能」を高めるために、授業の中で一人ひとりが観察・実験器具を操作する時間をとり、正しく技能が身に付けられるようにする。また、観察・実験の際に正しい結果が出るためのポイントを伝えて、法則やきまりを見つけることができるようにする。</p>